

赤十字新聞

9

Sep 2009



The Red Cross Journal Japanese Red Cross Society publication

編集・発行/日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL.03-3438-1311 一部20円

Vol.832 http://www.jrc.or.jp



世界中の子どもたちの笑顔を写真で撮り続けています。名付けて「MERRY PROJECT」。

「MERRY (メリー) とは、「楽しいこと、幸せなとき、夢」のこと。1999年にスタートし、25カ国、3万人以上の笑顔を撮ってきました。

昨年8月の北京オリンピックの開会式。子どもの笑顔を一人ひとりプリントした2008本の傘がフィールドいっぱいに開きました。競技場の壁面にも笑顔の映像。このうち1100人を超える子どもたちの写真は水谷さんの提供でした。

アートディレクター・グラフィックデザイナー
水谷 孝次さん
(MERRY PROJECT主宰)

「感情はなく、満足できませんでした。そんな時に子どもたちの笑顔に気づいたそうです。「ケニア

今年6月、中国四川省で日赤が再建を支援している小学校を訪れ、子どもたちの笑顔を撮影する水谷氏



記憶がよみがえるといいます。「父は戦争で片方の耳を失う大けがを負いました。聴力が落ちた父の耳の代わりを私がしていました。周囲の人々から奇異な目で見られるのが嫌でした。笑顔を向けて欲しかった」

デザイナーとなり、アメリカやヨーロッパでも数々の名高い賞を獲得。しかし、仕事で成功を収め、名誉やお金が入っても「心の底からうれいとい

のスラムである子どもに『あなたにとってメリーとは何ですか?』と聞いたら『YOU! 今まで笑ったこともない。メリーということも考えたこともない。でも今日はメリーよ!』と。



笑顔で世界を幸せに



自分の求めていたものに気づきました」

子どもの笑顔は世界中どこでも素敵ですが、苦しい環境に置かれている子どもたちの一瞬の笑顔がとりわけ輝いて見えると

います。日本赤十字社と協働(コラボ)する接点はここから生まれました。

北京オリンピックに合わせ、六本木ヒルズにも展示しました。募金箱に集まったお金は日赤に寄付されました。

中国四川省で起きた大地震、スマトラ島沖地震・津波。復興活動を懸命に続ける日赤チームがいるところの子どもたちの笑顔の写真を撮りに出かけ、その写真を今年8月には横浜開港博で、日赤の活動写真とともに展示しました。

「日赤の支援活動をもっと多くの人たちに見てもらうためにも、これからもコラボできるといいですね」